



# 平成23年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月4日

上場会社名 オーエスジー株式会社  
 コード番号 6136 URL <http://www.osg-ir.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成23年4月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 石川 則男  
 (氏名) 園部 幸司

TEL 0533-82-1113

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年11月期第1四半期の連結業績(平成22年12月1日～平成23年2月28日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年11月期第1四半期	18,793	27.6	1,935	540.6	1,612	620.5	627	397.2
22年11月期第1四半期	14,729	△5.8	302	△56.3	223	△49.4	126	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年11月期第1四半期	6.60	—
22年11月期第1四半期	1.31	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年11月期第1四半期	102,240	62,788	55.7	599.72
22年11月期	105,635	63,162	54.1	601.44

(参考) 自己資本 23年11月期第1四半期 56,954百万円 22年11月期 57,117百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年11月期	—	4.00	—	8.00	12.00
23年11月期	—	—	—	—	—
23年11月期(予想)	—	6.00	—	10.00	16.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年11月期の連結業績予想(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,700	14.8	4,200	65.9	3,800	63.3	2,100	58.8	22.11
通期	75,000	7.9	10,000	32.9	9,200	37.3	5,200	37.8	54.75

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年11月期1Q 98,955,226株 22年11月期 98,955,226株

② 期末自己株式数 23年11月期1Q 3,987,119株 22年11月期 3,986,173株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年11月期1Q 94,968,594株 22年11月期1Q 96,070,938株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.2「1.(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 販売の状況 .....	10

※ 当社は四半期決算補足説明資料を作成しており、決算発表後一週間以内に当社ホームページにて掲載する予定です。

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は、円高基調の継続や雇用情勢の悪化が懸念されるなど、依然として景気の先行き不透明感が残るものの、新興国の継続的成長や海外経済の改善による輸出の増加等に支えられ緩やかな回復基調を維持しました。

当精密機械工具業界においては、主要ユーザーである自動車関連産業の国内市場での伸び悩みはあったものの輸出及び海外市場が堅調に推移したことにより、市況は回復を継続しました。

当社グループにおいても、成長市場である中国をはじめとするアジア地域の好調な需要が維持され、売上高は増加基調を継続しました。海外売上高比率は、アジア地域の増加により50.9%（前年同期は49.2%）となりました。売上高の増加に伴う製造部門の稼働率の向上により利益面でも改善傾向を継続しています。

以上の結果、売上高は187億9千3百万円（前年同期比27.6%増）、営業利益19億3千5百万円（前年同期比540.6%増）、経常利益16億1千2百万円（前年同期比620.5%増）、四半期純利益6億2千7百万円（前年同期比397.2%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、投資有価証券等が増加しましたが、現金及び預金、商品及び製品等が減少したことにより、前連結会計年度末（以下、「前期末」という）と比較して33億9千5百万円減少し、1,022億4千万円となりました。

一方負債は、未払法人税等、短期借入金、長期借入金等が減少したことにより、前期末と比較して30億2千1百万円減少し、394億5千1百万円となりました。

また、純資産はその他有価証券評価差額金等が増加しましたが、為替換算調整勘定等が減少したことにより、前期末と比較して3億7千3百万円減少し、627億8千8百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末と比較して1.6ポイント増加し、55.7%となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は111億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億1千2百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は3億7千9百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益15億9千7百万円、減価償却費13億2千7百万円、仕入債務の増加額3億2千8百万円、売上債権の増加額3億9千8百万円、未払費用の減少額25億1千7百万円、法人税等の支払額10億8千8百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は7億4百万円の支出となりました。主な要因は定期預金の払戻による収入5億2千1百万円、有形固定資産の取得による支出10億3千6百万円等であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は19億9百万円の支出となりました。主な要因は短期借入金の純減少額2億9千2百万円、長期借入金の返済による支出5億2千2百万円、配当金の支払額7億2千1百万円、少数株主への配当金の支払額3億7千2百万円等であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の実績は期初の予想範囲内であると判断しております。平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」による業績に与える影響は現在調査中ではありますが、現時点では、当第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想については、平成23年1月11日発表の予想数値を修正する必要はないと判断しております。今後、修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 税金費用の計算

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

#### ② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

#### ③ 企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

#### ④ 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,353	16,314
受取手形及び売掛金	15,513	15,359
有価証券	0	0
商品及び製品	10,267	10,928
仕掛品	2,936	2,741
原材料及び貯蔵品	3,454	3,301
その他	3,137	3,239
貸倒引当金	△176	△169
流動資産合計	48,487	51,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,538	13,860
機械装置及び運搬具(純額)	13,068	12,999
土地	10,893	10,908
その他(純額)	2,425	2,476
有形固定資産合計	39,925	40,245
無形固定資産		
のれん	581	623
その他	2,812	3,008
無形固定資産合計	3,393	3,632
投資その他の資産		
投資有価証券	4,384	3,491
その他	6,321	6,838
貸倒引当金	△272	△287
投資その他の資産合計	10,433	10,041
固定資産合計	53,752	53,919
資産合計	102,240	105,635
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,891	3,731
短期借入金	4,361	4,654
1年内返済予定の長期借入金	5,663	5,781
未払法人税等	918	1,358
賞与引当金	977	245
役員賞与引当金	60	182
その他	4,439	7,021
流動負債合計	20,312	22,975

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	16,487	16,882
退職給付引当金	218	227
役員退職慰労引当金	49	49
その他	2,383	2,338
<b>固定負債合計</b>	<b>19,139</b>	<b>19,497</b>
<b>負債合計</b>	<b>39,451</b>	<b>42,473</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	10,404	10,404
資本剰余金	14,197	14,197
利益剰余金	45,489	45,622
自己株式	△4,828	△4,827
<b>株主資本合計</b>	<b>65,262</b>	<b>65,396</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	1,107	577
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△9,416	△8,854
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△8,308</b>	<b>△8,278</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>5,834</b>	<b>6,044</b>
<b>純資産合計</b>	<b>62,788</b>	<b>63,162</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>102,240</b>	<b>105,635</b>

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
売上高	14,729	18,793
売上原価	10,371	11,912
売上総利益	4,357	6,880
販売費及び一般管理費	4,055	4,944
営業利益	302	1,935
営業外収益		
受取利息	51	42
受取配当金	15	18
為替差益	47	—
その他	118	102
営業外収益合計	232	163
営業外費用		
支払利息	155	109
売上割引	96	122
為替差損	—	111
その他	59	143
営業外費用合計	311	486
経常利益	223	1,612
特別利益		
固定資産売却益	5	0
子会社清算益	31	—
貸倒引当金戻入額	—	6
その他	6	—
特別利益合計	43	7
特別損失		
固定資産売却損	0	11
固定資産除却損	15	10
ゴルフ会員権評価損	3	0
減損損失	15	—
その他	1	—
特別損失合計	37	22
税金等調整前四半期純利益	229	1,597
法人税、住民税及び事業税	327	631
法人税等調整額	△377	92
法人税等合計	△49	724
少数株主損益調整前四半期純利益	—	873
少数株主利益	153	246
四半期純利益	126	627

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	229	1,597
減価償却費	1,313	1,327
減損損失	15	—
のれん償却額	41	35
子会社清算損益(△は益)	△31	—
有形固定資産除却損	15	10
有形固定資産売却損益(△は益)	△5	10
受取利息及び受取配当金	△66	△61
支払利息	155	109
持分法による投資損益(△は益)	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△556	△398
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,286	108
仕入債務の増減額(△は減少)	377	328
未払費用の増減額(△は減少)	△1,098	△2,517
その他	1,052	959
小計	2,729	1,509
利息及び配当金の受取額	50	54
利息の支払額	△172	△95
法人税等の支払額	△239	△1,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,368	379
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△350	△58
定期預金の払戻による収入	166	521
有形固定資産の取得による支出	△558	△1,036
有形固定資産の売却による収入	18	8
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
子会社株式の取得による支出	—	△9
その他	△171	△126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△899	△704
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,426	△292
長期借入金の返済による支出	△466	△522
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△267	△721
少数株主への配当金の支払額	△90	△372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,251	△1,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	108	△177
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,673	△2,412
現金及び現金同等物の期首残高	20,816	13,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,143	11,112

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当社及び連結子会社は精密切削工具をはじめとする精密機械工具の専門メーカー及び販売会社であり、事業の種類を大別すると精密機械工具部門とその他に分類されますが精密機械工具における売上高及び営業損益はいずれも全体の90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報は省略いたします。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	7,613	2,395	1,290	3,430	14,729	—	14,729
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,090	20	2	124	2,239	(2,239)	—
計	9,703	2,416	1,292	3,555	16,968	(2,239)	14,729
営業費用	10,215	2,297	1,219	2,951	16,683	(2,256)	14,427
営業利益又は営業損失(△)	△511	118	73	603	284	17	302

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)米州……米国、カナダ、メキシコ、ブラジル

(2)欧州……英国、ベルギー、フランス、オランダ、デンマーク、スペイン、ドイツ、イタリア

(3)アジア……中国、シンガポール、タイ、台湾、韓国、インド

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)

	米州	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,379	1,304	3,565	0	7,249
II 連結売上高(百万円)					14,729
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.1	8.9	24.2	0.0	49.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)米州……米国、カナダ、メキシコ、ブラジル

(2)欧州……英国、ベルギー、フランス、オランダ、デンマーク、スペイン、ドイツ、イタリア

(3)アジア……中国、シンガポール、タイ、台湾、韓国、インド

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、主に精密機械工具を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては米州（米国、カナダ、メキシコ、ブラジル）、欧州（英国、ベルギー、フランス、オランダ、デンマーク、スペイン、ドイツ、イタリア）、アジア（中国、シンガポール、タイ、台湾、韓国、インド）等の各地域をOSG Tap and Die, Inc.（米国）、OSG Europe S.A.（ベルギー）、欧士机（上海）精密工具有限公司（中国）、韓国OSG株式会社（韓国）、OSG Asia Pte Ltd.（シンガポール）及びその他の現地法人が、それぞれ担当しています。アジアについては、地理的に近接しており、販売する市場または顧客の種類、販売方法が類似していることから、1つの集約した事業単位として管理しています。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

従って、当社は生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アジア」の4つを報告セグメントとしています。各報告セグメントでは、主として精密機械工具を生産・販売しています。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,348	2,959	1,464	5,021	18,793	—	18,793
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,063	32	2	196	3,294	△3,294	—
計	12,411	2,991	1,466	5,217	22,088	△3,294	18,793
セグメント利益	807	255	152	1,115	2,330	△394	1,935

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 販売の状況

品 目 別		前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)
		金額(百万円)	金額(百万円)
切削工具	ねじ切り工具	4,736	6,753
	ミーリングカッター	3,484	4,177
	その他切削工具	3,503	4,174
	計	11,724	15,105
転造工具		1,479	1,636
測定工具		233	256
その他	機械	299	624
	LHS	172	156
	その他	819	1,013
	計	1,291	1,795
合 計		14,729	18,793